

産学連携実装化プロジェクト成果報告会

～第2回オープンイノベーション交流会～

日時

令和8年3月23日(月) 午後2時～午後5時30分

会場

京都経済センター 6階 6-B & 3階 KOIN

参加費
無料

プログラム

- 14:00～ 産学連携実装化プロジェクト概要説明
- 14:15～ 産学連携実装化プロジェクト成果報告会
- 16:05～ 全体講評
- 16:30～ オープンイノベーション交流会(@KOIN)

定員

50名(先着順)

【対象者】

事業創出を目指す企業、金融機関、ベンチャーキャピタル、大学研究者、自治体等

産学連携実装化プロジェクト採択者

※五十音順



伊勢 武史 京都大学 フィールド科学教育研究センター 准教授

「森林植生判別AIによる先進的な「森の地図」実現と自然共生社会の推進」

京都市は森林が市域の70%以上を占めるが、その整備や活用は進んでいない。本提案では、既存の空中写真と高効率な森林植生判別AIを用いて先進的な「森の地図」を作成する。森林の観光、防災、水源涵養、炭素蓄積など多面的価値を可視化し、行政の合理的な施策立案や民間の林業・観光開発を支援する。従来よりコストを10分の1以下に抑え、高精度・高頻度な森林観測を実現する。



岡 真優子 京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授

「京都産茶の茎由来カテキン類から開発した家畜飼料で食中毒細菌フリーの鶏飼育に挑戦する」

京都府特産のてん茶生産で廃棄される茶の茎に含まれるカテキン類が、カンピロバクターなどの病原細菌に殺菌作用を示すことを見出した。本研究では、この茎カテキン類を安全な天然由来抗菌物質として活用し、家畜飼料の開発を目指す。鶏への感染抑制を通じて食中毒リスクの低い鶏肉生産を実現し、資源循環型の新たな京都ブランド創出に挑戦する。



徐 淮中 京都工芸繊維大学 繊維学系 准教授

「独自開発精密3Dプリンター装置による生体吸収性ステントの高精度製造技術の実装化」

高齢化により脳動脈瘤や末梢血管疾患の治療需要が高まる一方、金属製ステントには慢性炎症や再狭窄、MRI制限などの課題がある。本研究では、生体吸収性ポリマー製ステントの開発を目的とし、京都発の次世代3DプリンターMEWを用いてミクロン単位で構造を精密制御する。材料設計や血管内皮細胞の接着・増殖を促す表面改質と組み合わせ、再生誘導型ステントの実用化と臨床実装を産学連携で推進する。



田中 俊一 京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 准教授

「地域養鶏の副産物を“食の資源”にー卵殻膜を使った高付加価値食品の開発ー」

京都府内の養鶏業で年間約 1,000 トン廃棄される卵殻膜に着目し、未利用バイオマスの高付加価値化を目指す研究である。独自の酵素分解技術により有用成分を保持した分解物を作製し、これを用いて食感や健康機能性を高めたパンを開発する。試食会による評価を行い、京都ブランドの中食商品としての実用化を通じ、資源循環と地域産業の活性化を図る。



松田 修 京都府立医科大学大学院 医学研究科 教授

「新規抗菌天然化合物の開発」

腸管出血性大腸菌 (EHEC) は重篤な合併症を引き起こす食中毒菌で、有効な治療法が限られている。我々は EHEC を死滅させる可食性天然物を発見した。本研究では、その活性成分を精製・構造決定し、作用条件を明らかにする。調理器具や食材の除染剤としての利用に加え、将来的な治療薬への応用を目指し、EHEC の感染予防と治療に貢献する。

申込方法

お申込みは下記WEBサイトからお願いします。

<https://www.astem.or.jp/kkic/sangakurenkei-jissoka-r7/20260323-networking>

【締切】 令和8年3月19日(木) 午後5時



お問合せ

産学連携実装化プロジェクト事務局

公益財団法人京都高度技術研究所 (ASTEM)

地域産業活性化本部 京都市桂イノベーションセンター

TEL (075) 391-1141 E-mail:kkic@astem.or.jp

